

令和 4 年度定例会 6 月会議開会挨拶（令和 4 年 6 月 20 日）

令和 4 年度定例会 6 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

コロナ感染症の影響で書面会議が続き、6 月 14 日、3 年ぶりに開催された第 73 回北海道町村議会議長会定期総会の決議は、

町村は食糧供給、水源涵養、国土保全など重要な国民生活を支える地域に根ざした文化を育んできた。

長期にわたる経済の低迷、幾度も発生する自然災害、加えてコロナウイルス感染症が町村行財政に大きな影を落としている現況を踏まえ、

「住民の手が届く自治の確立を求め、今後とも地域住民の代表たる責務を深く自覚し、清新で活発な議会活動に努めるとともに、住民の負託に応え、諸課題の解決に向け総力を結集する。」として

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底
- ② コロナ禍での安心できる社会・経済活動の活性化
- ③ 町村議会の活性化と議会の権限の拡充
- ④ 地方財政基盤の確立等

17 項目の決議と 14 件の地区要望事項を北海道町村議長会の総意として採択しました。

◎ 6 月 7 日、経済財政運営と改革の基本方針「骨太方針 2022」が閣議決定されました。「安全保障に強い防衛関連産業、IT 分野への需要喚起」、「財政健全化の方向転換」、「分配シフトする新しい資本主義に向けた具体的な施策の先送り」などへの賛否論争、世界的な金利上昇下で、円安を懸念しつつも大規模金融緩和を継続するとの日銀の談話も報道され、引き続き懸念される、異常気象による地球温暖化、収束しないコロナ感染症、ロシアの異常なウクライナ侵攻など世界情勢の先行きが混とんとし、日本全国への多大な影響が予測困難な厳しい状況が続きます。

福島町議会としても、厳しい現況を受け止め、議会活動の重要な視点として、「わかりやすく町民が参画する議会」・「しっかりと討議する議会」・「町民が実感できる政策を提言する議会」を意識し、課題解決に向けて行政としっかり対峙し、より住民の側に立って活動することが、議会・議員の役割であるとの認識をさらに深めていかなければなりません。

出席者各位には、本 6 月会議の議事運営にご協力いただきますようお願い申し上げ、活発な討議が展開されますことを期待して開会の挨拶といたします。